

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和7年度高山工業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年1月31日(土) 10:00~12:15
*10:10~10:50 卒業作品展の参観 (本校体育館)
- 3 開催場所 高山工業高等学校 校長室
- 4 参加者 (敬称略)

会 長	桑原加奈子	高山工業高等学校 育友会長
副 会 長	見山 政克	高山市教育委員会 教育長
委 員	牛丸 勝	高山市立日枝中学校 校長
	松井 健治	高山市立花里小学校 校長
	牛丸 義仁	千島町内会副会長 (欠席)
	中田 和子	高山商工会議所女性会会長 (欠席)
	北村 卓也	飛騨木工連合会副理事長 日進木工株式会社代表取締役社長
学 校 側	岩島 義則	校長
	渡辺 圭子	教頭
	三田 真弓	事務長
	梶井 真也	教務主任
	高橋 佑介	生徒指導主事
	山下 泰司	進路指導主事
	門前 雅人	工業部長

5 会議の概要

[卒業作品展見学]

意見1：完成度の高い作品が多いと感じた。見た目も美しく、頑丈な作りのものばかり。
SDGs に関する質問をした際にも、生徒がしっかり答えてくれ、ねらいをもって制作に取り組んでいることが伝わった。

[協議及び指導・講評]

1 自己評価の報告と学校関係者評価について

① 学校評価について

意見 2 : 「地域産業界や関係機関と連携した進路支援」の年度目標については生徒アンケート 21 (将来の希望に沿った進路支援) を評価基準とし、肯定的評価 95% を目標値としていた。86% となったが学校はどのようにとらえているか。

⇒夏に実施したアンケートの全学年平均値。入学して数か月の 1 年生も含まれている。来年度は総合工学科群で秋には学科選択がある。それに向けて 1 年生にも早期から進路面談を重ね、より一層支援に力を入れる予定である。

意見 3 : 卒業作品展の呈茶場でお話をしてくれた 3 年生が、工業で一番良かったのは技術を付けることができたことと語り、明るい表情で進路先を教えてくれた。良い指導であるような姿が見られ、すごく嬉しい。また、案内をしてくれた生徒も気遣いがあり、気持ちの良い対応で本当に素敵だった。

② 各分掌の指導の重点と自己評価

教務部

意見 4 ; ICT 学習支援ツールの利点と費用負担等について教えてほしい。

⇒主に長期休暇課題として使用。講義視聴・確認テスト・復習がセット。理解しやすい。休み明け考査時には弱点に応じた課題が数日内に配信され、個に応じた学習ができています。発展学習に自発的に取り組み難関大学にチャレンジできる力を身につけた生徒もいる。全生徒が教材として購入している。

生徒支援部

意見 5 : 若い人の精神的な不調が非常に増えている。就職後の「生き方指導」をどうするかが重要になっている。学校は“まっすぐ目標に向かう場所”ではなく、“つまずきや失敗を経験し、乗り越えることで力をつける場”だと思う。失敗を乗り越える場を意図的に設定して欲しい。

意見 6 : 経済状況から「自分で稼いでほしい」という保護者もいる。一方“闇バイト”への不安もある。健全なアルバイトで働く経験は、社会性やコミュニケーション能力を身につける良い機会になるとも感じている。先生方に関わって状況の評価してもらいながら進めてもらいたい。

進路支援部

意見 7 : 義務教育の生徒と高校生、大学生そして地域行政や企業がもっと交流しながら、子どもたちが“自分の生き方”を早期から考えられるようにしたい。高校の先生方のお力も借りたい。教育の場においては、学問の楽しさを伝えることはもちろん、「こういう仕事がある」「こういう世界がある」ということを、もっと幅広く知る機会を設定していくことが必要だ。

意見 8 : 高山市は観光が盛んで今、人が観光産業に流れている。地域の基幹産業である製造業にとって工業高校の存在は非常に重要。もの作りに携わってくださる生徒さんを工業高校で育てていただいてありがたいと感じている。

工業部

意見 9：近年、学生を見ていると、諦めやすかったり、見通しを持って取り組むことが難しかったり、自分を大切にできないというような姿を感じることもある。やはりコロナの3年間の影響はとても大きかったのだろう。最も大事な時をそこで過ごした子供たちは「自分でやり遂げられた」「こうすれば人の役に立てる」というような経験が十分に積めていないのか。頑張っているからと支援の手を離すと、思ったより早く倒れそうになってしまう。工業の先生方は大変な思いをしながら指導してくださっている。達成感を味わわせながら生徒が成長できる場を仕掛けていかなければならないと感じた。

意見 10：今日の卒業作品展の中でも作業上のトラブルがあり、やり直す中で上手くそれを乗り越えていた。働き始めてもいろいろなトラブルがあると思うが、どう乗り越えるかという経験こそが、工業高校を卒業してからの力につながるのだろうと感じた。

6 会議のまとめ

卒業作品展の参観では、3年生一人一人の生徒の姿から、それぞれが探究しながら学びを重ねてきた本校の課題研究の授業について多くの委員の皆様から高い評価をいただくことができた。全校生徒や教員に伝え、今後の励みとしていきたい。その後、今年度の学校教育体制の振り返りを報告しご意見をいただいた。ご指摘のあった点については早々に職員一同共有し、改善に繋げるなど、来年度の教育活動をさらに充実させていく。

また、本校の教育目標を地域と共有し、小学校、中学校、高等学校、企業、行政など協力し、さらに生き生きとした逞しい人材育成に努めたい。